

②

令和2年度
当初予算案の主要事業

令和2年2月

浜 松 市

目 次

(1)	〈新規〉若年層向け情報発信事業	広聴広報課	1
(2)	〈新規〉オープンデータプラットフォーム構築事業	広聴広報課 情報政策課	2
(3)	SDGs推進シンポジウム開催事業	企画課	3
(4)	〈拡充〉経営改革推進事業	政策法務課	4
(5)	〈拡充〉外国人学習支援センター運営事業	国際課	5
(6)	〈拡充〉地域共生推進事業	国際課	6
(7)	〈新規〉庁内システムクラウド化事業	情報政策課	7
(8)	〈拡充〉地域施設管理運営事業	市民協働・地域政策課	8
(9)	〈拡充〉はままつ移住コーディネーター事業	市民協働・地域政策課	9
(10)	〈拡充〉まちむらリレーション市民交流会議事業	市民協働・地域政策課	10
(11)	〈拡充〉中山間地域まちづくり事業	市民協働・地域政策課	11
(12)	〈拡充〉空家対策事業	市民生活課	12
(13)	〈新規〉デジタル・スマートシティ推進事業	秘書課（政策調査官）	13
(14)	天竜区役所内事務所移転事業	天竜区区振興課	15
(15)	音楽イベントの開催	創造都市・文化振興課	16
(16)	静岡国際オペラコンクール共催事業	創造都市・文化振興課	18
(17)	2020文化プログラム推進事業	創造都市・文化振興課	19
(18)	市民音楽ホール整備事業及び管理運営事業	創造都市・文化振興課	20
(19)	アクトシティ浜松改修事業	創造都市・文化振興課	21
(20)	ブラジルホストタウン交流事業	スポーツ振興課	22
(21)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業	スポーツ振興課	23
(22)	ビーチ・マリンスポーツ推進事業	スポーツ振興課 観光・シティプロモーション課 公園管理事務所	24
(23)	四ツ池公園陸上競技場公認更新事業	スポーツ振興課	25
(24)	国指定重要文化財「鈴木家住宅主屋・釜屋」保存修理事業	文化財課	26
(25)	史跡等整備活用事業	文化財課	27

(26)	中央図書館大規模改修事業	中央図書館 公共建築課	28
(27)	〈新規〉蜷塚遺跡保存活用計画策定事業	文化財課博物館	29
(28)	〈新規〉家康公浜松城築城450年記念特別展開催事業	文化財課博物館	30
(29)	美術館及び秋野不矩美術館展覧会	美術館 秋野不矩美術館	31
(30)	秋野不矩美術館資料収集保存事業	秋野不矩美術館	32
(31)	〈新規〉Web口座振替受付サービス事業	税務総務課	33
(32)	〈新規〉マイナンバーカード交付促進事務拡充事業	市民生活課	34
(33)	国勢調査事業	文書行政課	35
(34)	〈拡充〉コミュニティソーシャルワーカー配置支援事業	福祉総務課	36
(35)	福祉交流センター大規模改修事業	福祉総務課 公共建築課	37
(36)	障害者・障害児自立支援給付事業	障害保健福祉課	38
(37)	障がい者相談支援事業所の再編	障害保健福祉課	39
(38)	〈新規〉精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築 推進事業	障害保健福祉課	40
(39)	障害児通所支援事業	障害保健福祉課	41
(40)	〈拡充〉通学・通園等の移動支援事業	障害保健福祉課	42
(41)	〈新規〉移動支援拡充に対応したヘルパー養成事業	障害保健福祉課	43
(42)	〈拡充〉人工呼吸器用外部バッテリー更新助成事業	障害保健福祉課	44
(43)	〈拡充〉高齢者緊急通報システム事業	高齢者福祉課	45
(44)	浜松こども館遊具等更新事業	次世代育成課	46
(45)	〈新規〉SNSを活用した若者相談支援事業	青少年育成センター	47
(46)	児童福祉施設整備助成事業	子育て支援課	48
(47)	〈拡充〉児童福祉施設専門機能強化助成事業	子育て支援課	49
(48)	〈新規〉児童養護施設等体制強化事業	子育て支援課	50
(49)	〈拡充〉学習支援事業	子育て支援課	51
(50)	〈拡充〉児童虐待対策の強化	児童相談所	52
(51)	〈拡充〉認証保育所助成事業	幼児教育・保育課	53
(52)	保育所等利用待機児童の解消	幼児教育・保育課	54

(53)	〈新規〉介護職員奨学金返済支援事業	介護保険課	56
(54)	介護サービス提供基盤整備費助成事業	介護保険課	57
(55)	〈新規〉若年がん患者等支援事業	健康医療課	58
(56)	〈新規〉県西部ドクターヘリ格納庫整備事業	健康医療課	59
(57)	〈新規〉安否確認システム導入事業	健康医療課	60
(58)	〈新規〉浜北区病院前救護所医療資器材等管理更新事業	健康医療課	61
(59)	〈新規〉クラウドソーシングを活用したひきこもり者の働く場の創出	精神保健福祉センター	62
(60)	〈新規〉姉妹校との国際交流事業	看護専門学校	63
(61)	浜北斎場拡張整備事業	市民生活課	64
(62)	〈新規〉ロタウイルスワクチン予防接種の定期接種化	健康増進課	65
(63)	〈新規〉浜松ウエルネスプロジェクト	健康増進課	66
(64)	新清掃工場整備事業	廃棄物処理課	67
(65)	〈拡充〉ごみ減量天下取り大作戦事業	ごみ減量推進課	68
(66)	燃料電池自動車普及啓発事業	環境政策課	69
(67)	市有施設の照明LED化推進事業	環境政策課	70
(68)	〈新規〉海洋プラスチックごみ問題啓発事業	環境政策課	71
(69)	〈拡充〉特定外来生物（クリハラリス）対策事業	環境政策課	72
(70)	産業廃棄物適正処理推進事業	産業廃棄物対策課	73
(71)	〈拡充〉産業人財獲得事業	産業総務課	74
(72)	〈新規〉外国人の雇用・就労に関する相談事業	産業総務課	75
(73)	〈拡充〉農業経営塾開催事業	農業水産課	76
(74)	〈拡充〉ユニバーサル農業推進事業	農業水産課	77
(75)	〈拡充〉海外販路拡大事業	農業水産課	78
(76)	〈拡充〉食と農プロジェクト推進事業	農業水産課	79
(77)	〈新規〉スマート農業推進事業費補助金	農業水産課	80
(78)	経営体育成助成事業	農業振興課	81
(79)	〈拡充〉強い農業づくり事業	農業振興課	82

(80)	かんがい排水整備事業	農地整備課	83
(81)	〈新規〉野生鳥獣出没緊急対応事業	林業振興課	84
(82)	〈拡充〉森林経営管理推進事業	林業振興課	85
(83)	林道等整備及び維持補修事業	林業振興課	86
(84)	〈拡充〉天竜材ぬくもり空間創出事業	林業振興課	87
(85)	森林整備・林業振興事業	林業振興課	88
(86)	F S C 認証材利用拡大推進事業	林業振興課	89
(87)	〈新規〉FSC木づなサミット2020in浜松	林業振興課	90
(88)	〈新規〉木の癒し公共空間創出・実証事業	林業振興課	91
(89)	〈拡充〉事業承継支援事業	産業総務課	92
(90)	新・産業集積エリア整備事業	企業立地推進課	93
(91)	〈拡充〉商業者連携促進支援事業費助成事業	産業振興課	94
(92)	リノベーション推進事業	産業振興課 市街地整備課	95
(93)	総合産業展示館改修事業	産業振興課 公共建築課	96
(94)	〈拡充〉産業イノベーション支援事業	産業振興課	97
(95)	E V シフト対応支援事業	産業振興課	98
(96)	〈拡充〉海外ビジネス展開支援事業	産業振興課	99
(97)	ファンドサポート事業	産業振興課	100
(98)	実証実験サポート事業	産業振興課	101
(99)	〈新規〉「ものづくり×ベンチャー」によるイノベーション創出促進事業	産業振興課	102
(100)	〈新規〉ベンチャー企業等DX推進事業	産業振興課	103
(101)	サテライトオフィス誘致事業	産業振興課	104
(102)	〈新規〉テレワーク推進事業	産業振興課	105
(103)	企業立地促進助成事業	企業立地推進課	106
(104)	〈新規〉公共施設創エネ・蓄エネ設備等導入事業	エネルギー政策課	107
(105)	〈新規〉家康公浜松城築城450年事業	観光・シティプロモーション課	108
(106)	〈新規〉浜名湖キューパヘミングウェイカップ事業	観光・シティプロモーション課	109

(107)	〈新規〉デジタル国内誘客推進事業	観光・シティプロモーション課	110
(108)	〈拡充〉インバウンド推進事業	観光・シティプロモーション課	111
(109)	〈拡充〉シティプロモーション事業	観光・シティプロモーション課	112
(110)	〈新規〉デジタルプロモーション事業	観光・シティプロモーション課	113
(111)	〈新規〉SNS発信事業	観光・シティプロモーション課	114
(112)	〈新規〉音楽とビーチ・マリンスポーツを融合した「フェス」開催事業	観光・シティプロモーション課	115
(113)	ブロック塀等耐震改修助成事業	建築行政課	116
(114)	公共建築物長寿命化推進事業	公共建築課 アセットマネジメント推進課	117
(115)	道路・街路・河川事業	道路企画課 道路保全課 河川課	118
(116)	交通事故ワースト1脱出事業	道路企画課	119
(117)	三遠南信自動車道関連整備事業	道路企画課	120
(118)	原田橋関連整備事業	道路保全課	121
(119)	橋りょう・トンネル長寿命化事業	道路保全課	122
(120)	舗装長寿命化事業	道路保全課	123
(121)	橋りょう耐震補強事業	道路保全課	124
(122)	浜松駅周辺自転車等駐車場再整備事業	道路保全課	125
(123)	〈拡充〉災害時情報伝達体制の強化	河川課 道路保全課	126
(124)	高塚川流域浸水対策アクションプラン	河川課 農地整備課 公園管理事務所 教育施設課	127
(125)	総合雨水対策計画	河川課	128
(126)	〈拡充〉土のうステーション支援事業	河川課	129
(127)	浜松版スマートタウン開発支援事業	土地政策課	130
(128)	歴史的風致維持向上計画策定事業	土地政策課 文化財課	131
(129)	総合交通計画等の見直し	交通政策課	132
(130)	バス退出路線における代替手段の確保	交通政策課	133
(131)	鉄道駅バリアフリー化設備整備費助成事業	交通政策課	134
(132)	旭・板屋A地区第一種市街地再開発支援事業	市街地整備課	135

(133)	土地区画整理等調査事業	市街地整備課	136
(134)	高丘地区モニュメント関連事業	市街地整備課	137
(135)	館山寺総合公園整備事業	緑政課	138
(136)	浜松城公園長期整備構想推進事業	緑政課 文化財課	139
(137)	公園整備事業	公園課	140
(138)	〈新規〉浜松城天守閣展示リニューアル事業	公園管理事務所 観光・シティプロモーション課 文化財課	141
(139)	〈新規〉家康公浜松城築城450年事業	公園課 公園管理事務所	142
(140)	動物園いのちのふれあいゾーン整備事業及び動物園内給排水設備等改修事業	動物園	143
(141)	西消防署庄内出張所建設事業	消防総務課	144
(142)	〈新規〉火災予防思想普及啓発用VR装置導入事業	予防課	145
(143)	消防航空隊運営維持管理事業	警防課	146
(144)	〈新規〉Net119導入事業	情報指令課	147
(145)	浜松第9分団庁舎移転改築事業	消防総務課	148
(146)	浜北第3分団庁舎・北浜小学校放課後児童会の複合施設建設事業	消防総務課 教育総務課	149
(147)	〈新規〉消防団による地域プロモーション事業	消防総務課	150
(148)	〈新規〉被災者生活再建支援システム整備事業	危機管理課	151
(149)	マンホールトイレシステム整備事業	危機管理課 下水道工事課	152
(150)	災害情報伝達手段整備事業	危機管理課	153
(151)	〈拡充〉コミュニティ・スクール推進事業	教育総務課	154
(152)	〈拡充〉放課後児童会運営支援事業	教育総務課	155
(153)	〈拡充〉放課後児童会施設整備事業	教育総務課	156
(154)	〈拡充〉教育の情報化推進リーダー養成研修事業	教育センター	157
(155)	〈新規〉英語力向上事業	指導課	158
(156)	夢育やらまいか事業	指導課	159
(157)	オリパラ教育地域拠点推進事業	指導課	160
(158)	かわな野外活動センター施設整備事業	指導課	161
(159)	学校建設事業一覧	教育施設課	162







(160) 小中学校空調設備整備及び管理運営事業	教育施設課	163
(161) 70歳以上高額療養費自動償還対応システム改修事業	国保年金課	164
(162) 〈新規〉AIを活用した特定健康診査受診率向上事業	国保年金課	165
(163) 〈拡充〉ささえあいポイント事業	高齢者福祉課	166
(164) 〈新規〉中央卸売市場再整備基本構想策定事業	中央卸売市場	167
(165) 小型自動車競走場メインスタンド棟改築事業	産業総務課公営競技室	168
(166) 浜松医療センター新病院整備事業	病院管理課	169

※事務分掌の変更や組織改正により所管課が変更となる場合があります。

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	4,400	0	0	0	4,400

※市政広報事業 184,960 千円の一部

目的	平成 29 年度から「郷土愛の醸成」をテーマとし、市内の高校 2 年生全員に年 2 回配布してきた市政情報誌を、冊子から動画配信へ変更することで、若年層に対してより効果的に情報を発信する。			
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政情報誌の配布対象がスマホ世代であること、さらに対象者が毎年変わることから、冊子の認知度向上が難しいため、若年層への訴求力を高める見直しが必要である。 ・ 令和元年 10 月の「デジタルファースト宣言」において、自治体運営のデジタルファーストを戦略のひとつとしている。 			
事業内容	<p>高校生や大学生など若年層のソーシャルメディアの利用状況を参考に、若者世代に響く手法を活用した情報発信を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コンセプト 若者をターゲットとし、自由な発想と同世代に共感を持ってもらう感性を大切に、若者目線を基準とした動画を制作し、浜松市の魅力を発信する。 2 制作手法 高校生や専門学校生、大学生など若者によるプロジェクトチームを結成。プロジェクトチームは、発信するテーマや具体的な内容の企画・立案のほか、情報拡散のための手法を検討する。 3 その他 30 秒～1 分の動画を 10 本程度制作。 			
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">現状</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冊子制作 ・ 市内高校 2 年生 ・ 年 2 回発行 ・ 各 15,000 部配布  </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> <td style="width: 40%; vertical-align: top;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">見直し後</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画制作 ・ 若者をターゲット ・ 年 10 本程度 ・ SNS で配信 ※全世代の SNS 利用者が視聴可能 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 40%;"> 若者による プロジェクト チーム結成 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 40%;"> 若者目線で 浜松市の魅力 を発信 </div> </div> </td> </tr> </table>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">現状</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冊子制作 ・ 市内高校 2 年生 ・ 年 2 回発行 ・ 各 15,000 部配布 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">見直し後</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画制作 ・ 若者をターゲット ・ 年 10 本程度 ・ SNS で配信 ※全世代の SNS 利用者が視聴可能 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 40%;"> 若者による プロジェクト チーム結成 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 40%;"> 若者目線で 浜松市の魅力 を発信 </div> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">現状</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冊子制作 ・ 市内高校 2 年生 ・ 年 2 回発行 ・ 各 15,000 部配布 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">見直し後</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画制作 ・ 若者をターゲット ・ 年 10 本程度 ・ SNS で配信 ※全世代の SNS 利用者が視聴可能 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 40%;"> 若者による プロジェクト チーム結成 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 40%;"> 若者目線で 浜松市の魅力 を発信 </div> </div>		

〈新規〉オープンデータプラットフォーム構築事業

企画調整部広聴広報課
電話:457-2021

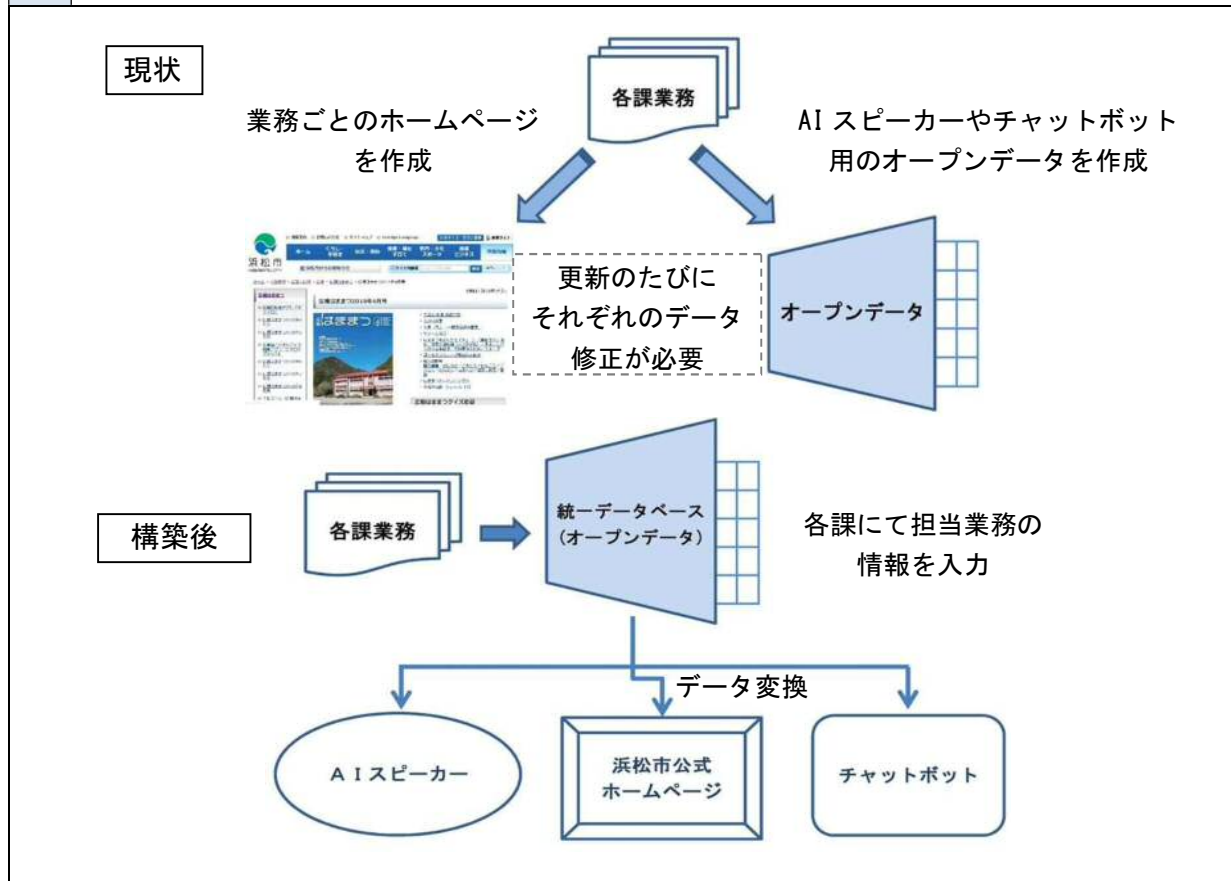
(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	67,030	0	0	0	67,030

※関連課 情報政策課 (電話:457-2721)

※(新規)オープンデータプラットフォーム構築事業 60,912千円、ネットワーク等維持管理事業 685,167千円の一部の合計

目的	市民が日常利用する多様なデジタルデバイスやツールに対応可能なサービス提供基盤を構築する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・国は官民データやIoTなどの先端技術を活用し、まちの課題を解決する「スマートシティ」の創出に取り組んでおり、自治体においても、ICTを活用した市民サービスの向上及び業務の効率化を図る取り組みが活発化している。 ・現在の市公式ホームページは運用開始から7年目を迎えるが、その間、インターネット関連の状況が大きく変化している。
事業内容	<p>オープンデータ化した「統一データベース」から市公式ホームページの作成のほか、民間事業者が提供するAIスピーカーやチャットボット等のサービスに接続可能なプラットフォームを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年1月仮稼働、令和3年4月本格稼働



SDGs 推進シンポジウム開催事業

企画調整部企画課
電話: 457-2241

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	2,500	1,250	0	0	1,250

※SDGs 推進事業 2,610 千円の一部

目的	持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた市民や企業等の取り組みを推進するため、「浜松市 SDGs 推進プラットフォーム」に参加する企業や大学等の会員による SDGs の取り組みの発表や情報共有、交流の機会を創出する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 企業・団体・個人による SDGs の達成に向けた幅広い活動を推進するため、令和元年 5 月 29 日に「浜松市 SDGs 推進プラットフォーム」を設立した。 令和元年 8 月 27 日には、「SDGs を共通目標とした連携・協働」をテーマに「SDGs 未来都市・浜松 パートナーシップシンポジウム」を開催し、学識経験者による講演などを通して参加者の理解を深め、活動を促進した。
事業内容	<p>シンポジウムの開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 時期・場所 令和 2 年 8 月または 9 月 市内会場（未定） 2 内容 <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs に関する学識経験者による講演 ・プラットフォーム会員企業や大学等の SDGs に関する取り組みを募集し、優れた取り組みについて発表



令和元年度「SDGs 未来都市・浜松 パートナーシップシンポジウム」の様子

〈拡充〉経営改革推進事業

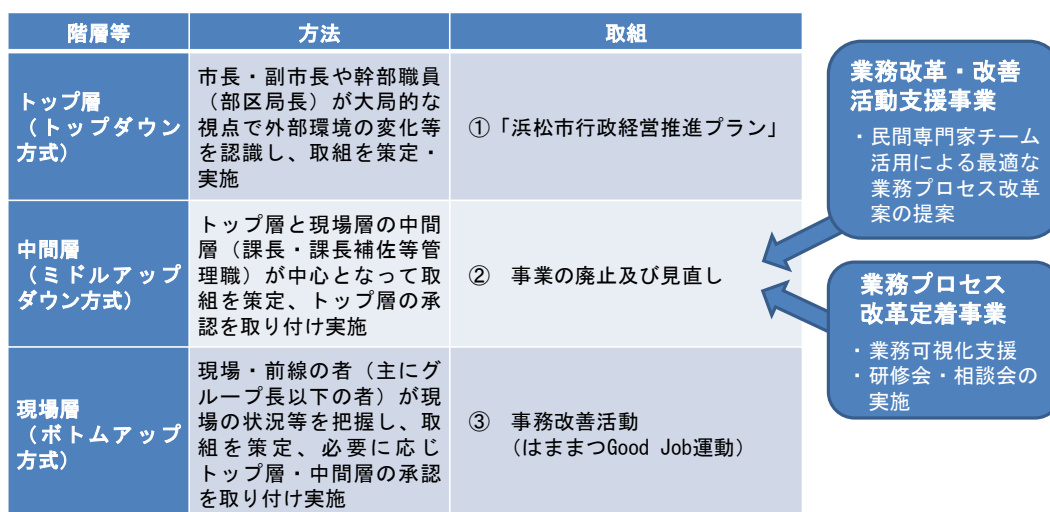
総務部政策法務課
電話:457-2244

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	15,763	0	0	0	15,763

目的	行政経営推進プランの着実な進行管理、事業の見直し、外郭団体への関与、内部統制制度の運用、その他行財政改革の不断の取り組みにより、スピード感のある改革を進める。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・少子高齢社会の本格化、社会保障関連経費やインフラの老朽化に伴う歳出の増加など、本市を取り巻く社会経済情勢はさらに厳しさを増している。 ・市民福祉の向上や都市の活力維持を目指し、組織や事業のあり方について常に先手を打って見直しを進め、自由度の高い経営資源を確保する必要がある。
事業内容	<p>1 (新規) 業務改革・改善活動支援事業 12,954千円 行財政改革をより一層推進することを目的に、各所属が実施する「業務改革・改善活動」の支援を行う。</p> <p>(1) 業務改革・改善活動支援事業 民間の専門家チームによる最適な業務プロセス改革案の提案。</p> <p>(2) 業務プロセス改革定着事業 政策法務課主導により、BPRノウハウ(業務フロー作成による業務可視化支援、研修・相談会等の実施)の全庁展開を図り、各所属のさらなる改革・改善を推進。</p> <p>2 (新規) 民間専門人材活用による事業提案作成事業 909千円 柔軟な発想、斬新なアイデア、幅広い人的ネットワーク等を有する民間専門人材による「稼ぐ力の増強」に資する提案及び実現に向けた調整を行う。</p>

令和2年度における業務改革・改善の推進について



(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	63,598	28,808	0	1,992	32,798



目的	新たな外国人材の受け入れ拡大などに伴う外国人市民の増加及び多国籍化に対応するため、日本語教育の総合的な体制を整備し、充実した日本語学習環境を提供する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年4月の改正入管法施行により外国人材の受入れが拡大するとともに、また令和元年6月の日本語教育の推進に関する法律の公布・施行により地域の実情に応じた日本語教育の推進が義務化された。 令和元年度に実施した企業や日本語教室運営団体等を対象としたアンケート調査では、日本語教室の受講希望者は増加傾向にあることが明らかになった。
事業内容	<p>受講希望者の増加に対応するため、外国人学習支援センターのほか、新たに出張による講座・教室を開催する。</p> <p>1 (拡充) 外国人市民のための日本語教室 4,511千円 (1) 日本語教室 会場:外国人学習支援センター 週5回×12か月 (2) 出張日本語教室 会場:クリエート浜松 週2回×3か月 (3) NPO等と連携した地域日本語教室 会場:市内協働センター 週1回×6か月 (4) ICT教材活用による遠隔地学習支援 文化庁開発中の学習コンテンツを活用 ※対象 外国人市民(原則として、定住者等身分資格に基づく在留資格保有者)</p> <p>2 (拡充) 日本語学習支援者を対象とした養成講座 1,420千円 日本語教室等において学習者への指導・支援を行う人材を養成 (1) 学習支援者養成講座 会場:外国人学習支援センター 年16回×2講座 (2) 企業内での外国人支援者養成企業・経済団体との連携 年10回×2講座 ※対象 市民</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>日本語教室</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>学習支援者養成講座</p>  </div> </div>	

〈拡充〉地域共生推進事業

企画調整部国際課
電話: 457-2359

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	11,842	1,615	0	0	10,227

目的	外国人市民は、地域経済を支える大きな力であるとともに、まちづくりを進める重要なパートナーとの認識のもと、誰もが暮らしやすい共生社会づくりを推進する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年4月から新たな在留資格が創設されたことにより、外国人の定住化・多国籍化のさらなる進展が見込まれる。 外国人住民が地域住民の一員として自立した生活を送るためには、必要な情報の提供を多言語で行うなど、細やかな支援が求められる。
事業内容	<p>1 (拡充) 在住外国人オリエンテーションツール改訂事業 2,516千円 現行の2言語(英語、ポルトガル語)に、4言語(中国語、タガログ語、スペイン語、ベトナム語)を追加。 ※オリエンテーションツール: 転入外国人向けに、就学や税金、防災など生活に必要な情報をまとめたもの。</p> <p>2 在住外国人向けホームページ管理運営事業 5,016千円 現在住外国人が求める情報を提供するため、7言語(英語、ポルトガル語、やさしい日本語、中国語、タガログ語、スペイン語、ベトナム語)対応のホームページを管理運用。 <カナル・ハママツホームページ> https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/foreign/index.html</p> <p>3 タブレット端末を利用した多言語通訳事業 3,323千円 窓口タブレット型情報端末を設置し、テレビ通話機能付通訳クラウドサービスを通じて、市職員と来庁者、通訳者との同時会話を可能とする。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>在住外国人向け オリエンテーションツール</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>タブレット端末を 利用した多言語通訳</p>  </div> </div>	

〈新規〉庁内システムクラウド化事業

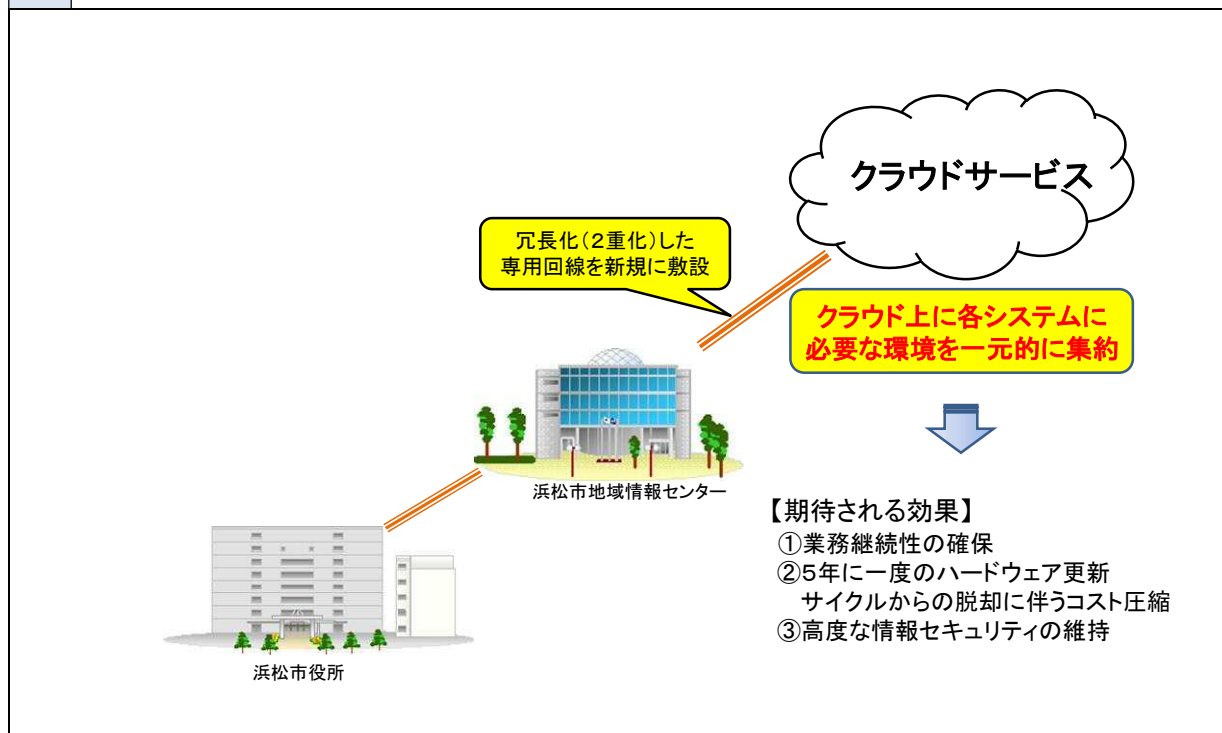
企画調整部情報政策課
電話: 457-2721

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	503,384	0	0	0	503,384

※住民情報系システム維持管理事業 1,031,348 千円の一部、ネットワーク等維持管理事業 685,167 千円の一部の合計

目的	システムごとに調達しているサーバー群をクラウド化することによりコスト削減を図るとともに、大規模災害時におけるデータ保護及び迅速なシステム復旧を可能とする。
背景	情報化基本方針及びデジタルファースト宣言に基づき、情報システムについて現行機器類の保守期間満了を契機に順次クラウド上で稼働するようシステム基盤を遷移する。
事業内容	<p>令和2年度末で保守期間満了を迎える共通基盤システムをクラウド化するとともに、今後の他システムのクラウド化に向けた環境整備を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> クラウド基盤選定・導入支援事業 17,600 千円 最適なクラウド事業者選定と共通ルール策定のためのコンサルティング クラウド接続用ネットワーク構築事業 16,003 千円 各システムがクラウドを利用するための通信網を整備 市共通基盤システムクラウド環境構築事業 469,781 千円 機器の更新時期に合わせ、システムをクラウド環境に移行



〈拡充〉 地域施設管理運営事業

市民部市民協働・地域政策課

電話: 457-2094

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	26,200	0	0	18,000	8,200

※自治会等コミュニティ振興事業 28,776 千円の一部

目的	協働センター等の地域施設の管理運営を地域組織に委ねることにより、地域コミュニティ活動の活性化を促進し、地域事情に応じた課題解決の仕組みを構築する。		
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や高齢化が進むなか、地域コミュニティの形成・維持は重要であり、さらなる活性化を促進する仕組みづくりが必要。 ・平成 29 年度以降、地域施設の管理運営を地域組織に委ね、管理施設を拠点とした地域主体によるコミュニティ活動の活性化を図っている。 		
事業内容	新たに三ヶ日協働センター及び水窪文化会館の管理運営業務を地域組織へ委託する。		
	施設名	委託先	
	委託業務		
	(新規) 三ヶ日協働センター ※モデル実施 1 年目	三ヶ日まちづくり協議会	施設管理、貸館の受付・利用案内、生涯学習業務補助
	(新規) 水窪文化会館 ※モデル実施 1 年目	地域活性化団体よかつつらみさくぼ	施設管理、貸館の受付・利用案内、生涯学習業務補助
	春野文化センター ※モデル実施 2 年目	特定非営利活動法人春野のえがお	施設管理、貸館の受付・利用案内、生涯学習業務補助
	和地協働センター ※モデル実施 3 年目	一般社団法人和地地区コミュニティ協議会	施設管理、貸館の受付・利用案内、生涯学習業務、図書貸出
龍山森林文化会館 ※本格実施 1 年目 (モデル実施 3 年終了)	特定非営利活動法人ほつと龍山	施設管理、貸館の受付・利用案内、生涯学習業務補助、窓口サービス、申請受付	
(新規) 三ヶ日協働センター 施設: 大会議室、講座室、和室	(新規) 水窪文化会館 施設: ホール、視聴覚室、音楽準備室		
			

〈拡充〉はままつ移住コーディネーター事業

市民部市民協働・地域政策課
電話: 457-2243

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	7,015	0	0	0	7,015

※浜松移住センター事業 9,496 千円の一部

目的	移住希望者のニーズに合った相談体制を構築し、UIJ ターンを進め、市域全体の移住の促進につなげる。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過疎化が進む中山間地域では、担い手を確保し、地域振興を進めていく必要がある。 ・ 近年は 20 代～40 代の現役世代の移住相談者が増加し、UIJ ターン希望の就業相談や、子育て相談が主となっている。
事業内容	<p>はままつ移住コーディネーターを中山間地域と都市部に分け、移住希望者のニーズに対応する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中山間地域コーディネーター コーディネーターデスクを天竜区区振興課内に置き、中山間地域の現地案内に迅速に対応する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域への移住に関する情報発信 ・ 移住希望者の相談対応及び移住相談会への出展 ・ 移住先の集落、地域住民等との調整 2 (新規) 都市部コーディネーター コーディネーターデスクを浜松商工会議所人材支援室内に置き、就業相談に的確に対応する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市部への移住に関する情報発信 ・ 移住希望者の相談対応及び移住相談会への出展 ・ 移住希望者の就業相談対応と就業先への調整



- ・ 移住希望者一人ひとりに寄り添った相談対応を実施
- ・ 東京交通会館（千代田区有楽町）にて、移住相談会「浜松 DAY」を毎月開催

〈拡充〉まちむらりレーション市民交流会議事業

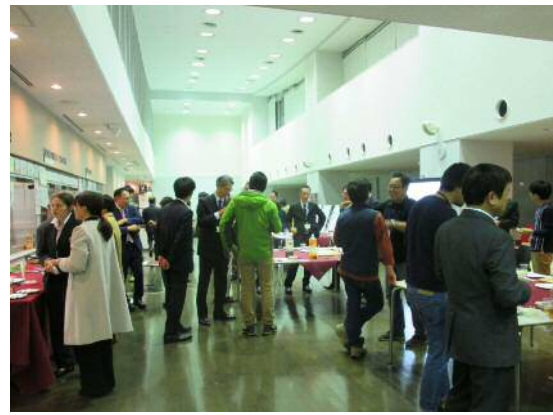
市民部市民協働・地域政策課
電話:457-2243

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	1,280	0	0	1,000	280

※交流促進事業 6,893 千円の一部

目的	中山間地域と多様に関わる都市部等の人々が、中山間地域の問題意識を共有し、連携して地域課題解決に取り組むきっかけづくりを行う。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度から、静岡文化芸術大学と連携し、都市部と中山間地域の関係者を対象に中山間地域の可能性を考える「まちむらりレーション市民交流会議」を開催している。 平成 30 年度から、集落及び中山間地域に関わりの深い若者を対象にしたアンケート調査や両者を継続的につなぐモデル事業を実施している。
事業内容	<p>1 まちむらりレーション市民交流会議 中山間地域、都市部双方のあらゆる年代、個人、企業、NPO 法人など、様々な主体が一同に会し、中山間地域の課題を共有するシンポジウムを開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 有識者による基調講演 まちづくりに取り組む企業、大学、NPO 等による事例発表 <p>2 (新規) 中山間応援隊交流事業 中山間地域住民、中山間地域出身者、中山間地域に関心を持つ都市部在住者等が集い、地域の課題解決や活性化に向けた関わり方について共に考える交流会を開催し、双方をつなぐきっかけづくりを行う。</p>



2020 まちむらりレーション市民交流会議の様子

〈拡充〉 中山間地域まちづくり事業

市民部市民協働・地域政策課
電話:457-2243

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	100,407	0	0	100,000	407

目的	中山間地域の活性化や課題解決のため、中山間地域において実施するまちづくり事業の活動原資となる交付金を交付し、市民主体によるまちづくりを推進する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年2月補正にて合併特例債を活用した地域振興等基金を造成。うち6億円を中山間地域まちづくり事業の財源として活用。 多様化する中山間地域の課題解決に向けて、NPO法人が公共の担い手として長期的に取り組むことができる環境づくりが必要。
事業内容	<p>現行制度を改正し、地域密着型で活動する中山間地域のNPO法人が、公共の担い手として地域課題に長期に取り組めるよう、事業期間の延長と交付限度額の引き上げを行うことで、制度の積極的な活用を促す。</p> <p>1 現行制度 ※令和2年度以降も継続 事業期間 2~4年間 交付限度額 1事業あたり1,000万円 人件費割合は交付限度額の1/2以下 交付対象 中山間地域のNPO法人 (大学、都市部のNPO法人は中山間地域内のNPO法人等との連携を条件に申請可)</p> <p>2 新たに追加する内容 事業期間 3~6年間 交付限度額 1事業あたり5,000万円 人件費割合は交付限度額の1/2以下 交付対象 活動地域内の住民が、団体活動に賛同している中山間地域のNPO法人</p>



買物支援 (移動販売)



獣害対策 (ジビエ加工・販売)



〈拡充〉空家対策事業

市民部市民生活課

電話: 457-2231

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	安全・安心・ 快適	14,579	0	0	22	14,557

目的	空家の適正管理を促すため、危険な空家に対して指導等を行うとともに、空家ワンストップ相談会等を通じて、空家の利活用・市場流通を促進する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・台風などの災害により、屋根材等が飛散するなど、老朽化した空家に起因する被害が発生する可能性があり、近隣住民は不安を抱えている。 ・老朽化した空家が市民の生活環境に深刻な影響を及ぼさないよう、除却を推進する施策が必要である。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 空家指導事業 4,068 千円 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、管理不全空家の所有者に対して指導・啓発を行い、危険な状況を解消する。 2 空家ワンストップ相談会事業 511 千円 法律、不動産、税金、建築の専門家が一堂に会する空家ワンストップ相談会を開催し、空家の利活用・市場流通を促す。 3 (新規) 空家除却促進事業費補助金 10,000 千円 空家の除却を促進するため、除却を支援する補助金を創設し、空家所有者による自発的な解体を促す。 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 平成 25 年 1 月 1 日以前に空家を相続した個人 ・対象となる空家 昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工されたもので相続登記がなされているもの 申請日から過去 5 年間空家であるもの ・補助率 1/3 (限度額 50 万円)
<p>空家除却促進事業費補助金の概要</p> <pre> graph LR A[家屋を相続] --> B[相続登記] B --> C[空家] C --> D[解体] D --> E[更地] F[補助金額 解体費用の1/3 (最大50万円)] -.-> D </pre> <p> S56.5.31 までに着工された家屋 H25.1.1 以前に家屋を相続 申請日から過去 5 年間空家 </p>	

〈新規〉 デジタル・スマートシティ推進事業

総務部秘書課（政策調査官）
電話：457-2027

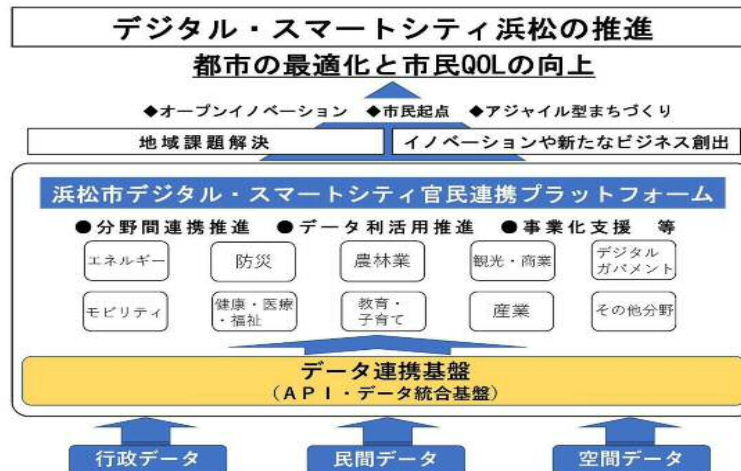
（単位：千円）

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	40,809	12,475	0	0	28,334

※令和2年4月1日からデジタル・スマートシティ推進事業本部を設置し実施

目的	データやICT（情報通信技術）等の先端技術を活用し、都市全体を最適化することで、市民生活の質の向上や地域の持続的な発展を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・国は、「経済財政運営と改革の基本方針2019」（骨太の方針）の中で、新たな時代への挑戦として「Society5.0」実現の加速を掲げ、スマートシティの実現に向けた取り組みを推進している。 ・先端技術やデータ活用をはじめとしたデジタルのちからを最大限に生かし、都市全体の最適化を図ることを目指し、令和元年10月に「デジタルファースト宣言」を発表した。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 スマート社会形成及び基盤整備事業 23,500千円 先端技術やデータを最大限に活かし産業の活性化や都市機能の高度化を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル・スマートシティ構想の策定 ・シンポジウム、セミナー、スマートシティウィークの開催 ・MaaS（異なる移動手段を繋ぎ、他のサービスとの連携を図る考え方）の推進など 2 デジタル・ガバメント推進事業 13,718千円 市民サービスの向上と自治体の生産性の向上を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・電子申請（住民票の写し等）の推進 ・AI（人工知能）・RPA（ロボットによる業務自動化）等先端技術の導入促進 3 デジタル・マーケティング推進事業 3,591千円 市政の各分野の情報を効果的に発信するための戦略を策定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル・マーケティング戦略の策定など

※スマート社会形成のイメージ図



天竜区役所内事務所移転事業

天竜区区振興課
電話:922-0011

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	18,766	0	0	0	18,766

※庁舎維持管理事業 64,389 千円の一部

目的	天竜区役所別館内の事務所を南館に移転することに伴い、南館及び本館の組織配置見直しと事務室内等のレイアウト変更等を行う。
背景	天竜区役所別館は耐震性が低いため、来庁者及び職員の安全を考慮し、令和2年度末までに別館から事務所を移転する。
事業内容	<p>1 天竜区役所組織配置の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 別館にある天竜上下水道課、林業振興課天竜森林事務所及び農業振興課天竜農業グループを南館へ移転する。 南館にある社会福祉課を本館へ移転する。 これにより、南館には土木関係、本館にはそれ以外の事務所を配置することとなり、建物ごとに機能が集約される。 <p>2 移転にかかる事業費 18,766 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 執務室改修、電話工事、更衣室新設等工事 10,795 千円 引っ越し手数料 4,448 千円 カウンター、更衣室ロッカー等備品購入 2,150 千円 その他建物修繕、廃棄物処理等 1,373 千円 <p>3 スケジュール</p> <p>令和2年5月 本館2階執務室改修等</p> <p>令和2年7月 本館1階執務室改修・レイアウト変更等</p> <p>令和3年2月 南館1階執務室改修、更衣室新設等</p> <p>令和3年3月 移転完了</p>

【天竜区役所の組織配置見直し】

施設名	現行	移転後
本館1階	区民生活課、長寿保険課、天竜区税務G	区民生活課、長寿保険課、社会福祉課
本館2階	区振興課、まちづくり推進課	区振興課、まちづくり推進課
本館2階災害対策室	(無し)	天竜区税務G
別館2階	天竜上下水道課	-
別館3階	天竜森林事務所、天竜農業G	-
南館1階	健康づくり課、社会福祉課	天竜上下水道課、天竜森林事務所、天竜農業G
南館2階	天竜土木整備事務所	天竜土木整備事務所
天竜保健福祉センター	(社会福祉協議会)	健康づくり課、(社会福祉協議会)

※災害対策室は、本館2階 21・22 会議室に機能を移転する。

※南館にある健康づくり課を天竜保健福祉センターへ移転する。
これにあわせて、天竜保健福祉センターの大規模改修工事を実施する。

音楽イベントの開催

市民部創造都市・文化振興課

電話:457-2417

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	171,569	30,000	0	17,154	124,415

目的	音楽イベントの開催を通して、「音楽の都・浜松」を実現する。			
事業内容		イベント名	事業費 (千円)	内容・開催期間
	1	まちなかコンサート	15,997	屋外吹奏楽などのコンサートを開催 時期 4月～11月、計30回 場所 キタラ等
	2	「こころの劇場」 ファミリー ミュージカル	2,500	市内小学6年生を対象に劇団四季による ミュージカルを開催 時期 令和2年6月16日～17日 場所 アクトシティ浜松大ホール
	3	2020 プラタナス コンサート	1,600	プラタナスの木をテーマとし、戦争の悲惨 さを後世に語り継ぐコンサート 時期 令和2年8月頃 場所 ソラモ
	4	第26回浜松国際管楽 器アカデミー& フェスティバル	10,186	管楽器に特化した音楽イベントの開催 時期 令和2年8月頃 場所 アクトシティ浜松
	5	さくま国際交流 コンサート	2,645	元ウィーン・フィル管弦楽団のカール・ ヤイトラー氏を招へいしてのコンサートの 開催等 時期 令和2年9月～10月頃 場所 歴史と民話の郷会館等
	6	第29回ハママツ・ ジャズ・ウィーク	6,213	企業との共催によるジャズイベントの実施 時期 令和2年10月頃 場所 市内各所
	7	サウンドデザインフェ スティバル in 浜松 2020	59,740	音の可能性や創造性を活かしたイベントの 実施 時期 令和2年10月31日～11月1日 場所 アクトシティ浜松展示イベント ホールほか

事業内容

	イベント名	事業費 (千円)	内容・開催期間
8	第9回静岡国際オペラコンクール	16,357	第9回静岡オペラコンクールの開催 時期 令和2年10月31日～11月8日 場所 アクトシティ浜松大ホール
9	第20回こども音楽鑑賞教室	9,167	市内小学5年生とプロオーケストラとの共演 時期 令和3年2月17日～18日 場所 アクトシティ浜松大ホール
10	浜松吹奏楽大会2021	14,260	全日本高等学校選抜吹奏楽大会と全国中学生交流コンサートを開催 時期 令和3年3月26日～28日 場所 アクトシティ浜松
11	浜松国際ピアノアカデミー2021	13,000	世界で活躍するプロピアニストの育成及び市民がピアノに親しむイベントの開催 時期 令和3年3月頃 場所 アクトシティ浜松
12	浜松国際ピアノコンクール	17,154	令和3年度開催予定の第11回コンクールの開催準備 時期 通年
13	オルガンミニコンサート	2,750	アクトシティ浜松中ホールのオルガンを使用したミニコンサート 年5回程度 時期 通年 場所 アクトシティ浜松中ホール

※開催時期の順に記載



まちなかコンサート



ハママツ・ジャズ・ウィーク

静岡国際オペラコンクール共催事業

市民部創造都市・文化振興課
電話:457-2417

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	16,357	0	0	0	16,357

目的	若手で有能な声楽家を発掘・育成するとともに、オペラを通じた国際交流の推進を図り、「音楽の都・浜松」を世界へ発信する。
背景	静岡県ゆかりのプリマドンナ三浦環※をたたえ、没後50年にあたる平成8年から3年に一度、静岡県などとの共同主催により開催している。 ※世界に認められた最初の日本人オペラ歌手と呼ばれている。両親と夫が静岡県出身。
事業内容	<p>第9回静岡国際オペラコンクールの開催</p> <p>1 開催期日 令和2年10月31日～11月2日 第1次予選 令和2年11月4日～5日 第2次予選 令和2年11月8日 本選、表彰式</p> <p>2 開催会場 アクトシティ浜松 大ホール</p> <p>3 実施形態 主催 静岡県、静岡県教育委員会、浜松市、静岡文化芸術大学、静岡国際オペラコンクール実行委員会 共催 (公財)浜松市文化振興財団、(公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューロー</p> <p>4 負担内容 会場使用料 16,357千円</p>

コンクールの様子



前回(第8回)コンクール入賞者



(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	59,740	30,000	0	0	29,740

目的	「響き」をキーワードに地域のクリエイター・アーティスト、市民活動団体や企業、学生など民間活力を引き出し、従来の固定観念（楽器、音楽、演奏）に捉われない「音」を活用した創造的なプロダクトや表現活動などの「サウンドデザイン」による新たな付加価値を創出する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会にあわせ、国をあげて日本固有の文化の魅力を世界に広く発信する文化プログラムを推進している。 ・平成 30 年度より 3 か年において、文化プログラム事業を順次実施し、令和 2 年度は最終年度にあたる。
事業内容	<p>音の可能性や創造性を活かした「創造都市・浜松」を推進するイベントの開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 名称 2020文化プログラム推進事業「はままつ響きの創造プロジェクト」 サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2020 2 日時 令和2年10月31日(土)～11月1日(日) 3 会場 アクトシティ浜松展示イベントホール、浜松市楽器博物館、浜松科学館 4 内容 アーティスト・クリエイター、市民団体、学生、企業等によるサウンドデザインに関する体験型作品展示、ワークショップ、ライブパフォーマンスとカンファレンス、ミートアップ

※参考 「サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2017」より



ビジュアルイメージ



音を活用した体験型作品

市民音楽ホール整備事業及び管理運営事業

市民部創造都市・文化振興課
電話: 457-2417

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	4,158,354	0	1,232,600	1,037,000	1,888,754

※(新規) 市民音楽ホール管理運営事業 7,920 千円、市民音楽ホール整備事業 4,150,434 千円の合計

目的	市民の音楽文化活動や学習成果等の発表の場を創出することにより、市民の文化の振興を図るため、北区新都田に市民音楽ホールを整備し、管理運営を行う。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・教育文化会館（はまホール）検証検討会の提言を踏まえ、創造都市政策における「浜松市市民文化創造拠点施設基本構想」を平成 29 年度に策定したが、長期的な取組が必要となることから、市民音楽ホールの新築を決定した。 ・令和元年度に新築工事を開始し、令和 2 年度中の完成を予定している。
事業内容	<p>1 新築工事 4,086,318 千円 (1) 工期 令和元年 6 月から令和 3 年 2 月まで (2) 総工事費 4,300,085 千円 (令和元年度 213,767 千円)</p> <p>2 開館準備 4,525 千円 指定管理者へ開館準備等業務を委託 (1) 期間 令和 2 年 11 月から令和 3 年 7 月まで (2) 内容 予約受付、ウェブサイト構築、開館記念イベント開催等</p> <p>3 その他 67,511 千円 ・工事監理業務等</p> <p>4 スケジュール ・令和 2 年 9 月 指定管理者指定 ・令和 2 年 11 月～ 開館準備委託 ・令和 3 年 6 月 開館、指定管理開始 ・令和 3 年 7 月 供用開始</p>



市民音楽ホールの外観図



ホール内のイメージ図

アクトシティ浜松改修事業

市民部創造都市・文化振興課
電話:457-2417

(単位：千円)

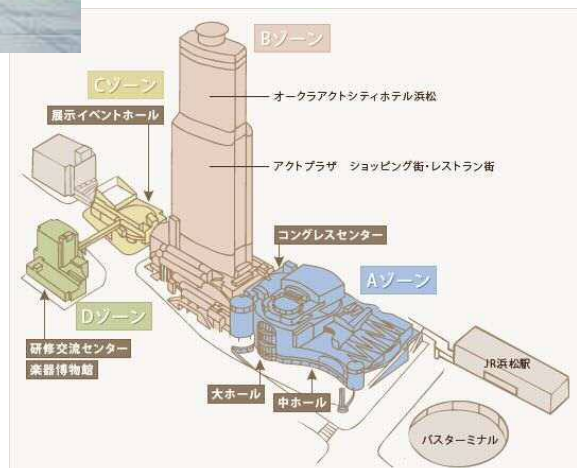
予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	598,255	0	0	571,000	27,255

※文化施設整備事業 603,592 千円の一部

目的	アクトシティ浜松施設改修計画に基づき、老朽化した設備等の更新を進め、施設の安全・安心な利用を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成6年建設で25年経過しており、施設の老朽化が進んでいる。 平成28年3月に策定したアクトシティ浜松施設改修計画（平成28年度～令和2年度）を基に、毎年度修繕箇所の優先順位及び金額を精査した上で改修を実施している。
事業内容	<p>主な工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ガラスアーケードガラス交換・塗装工事 141,742 千円 中央監視装置・自動制御機器部品更新工事 125,339 千円 展示イベントホール等音響更新工事 116,833 千円 空調設備更新工事 他 214,341 千円



展示イベントホール等音響更新工事



ブラジルホストタウン交流事業

市民部スポーツ振興課
電話: 457-2421

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	734,098	0	0	0	734,098

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル選手団の事前合宿を受け入れる中で市民と選手との交流を通じ、異文化のさらなる理解や共生社会の実現などを進展させる。 ・心のユニバーサルデザインが地域に浸透し、外国人も障がいのある人もだれもが仕事に、スポーツに、学習に打ち込むことができるまちへの変革を目指す。
背景	令和元年7月にブラジルオリンピック及びパラリンピック両委員会と最終的な事前合宿協定書を締結し、オリンピック7競技・パラリンピック19競技の選手団の受け入れが決定した。
事業内容	<p>1 宿泊関連費 233,955 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック 7 競技、最大 162 人、22 日間、練習会場 6 施設 ・パラリンピック 19 競技、最大 397 人、14 日間、練習会場 14 施設 <p>2 交通輸送関連費 114,583 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港⇒浜松⇒東京（選手村）の交通費 ・宿泊施設から練習会場への市内交通費 <p>3 練習環境の整備 285,142 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習会場使用料 ・トレーニング機器等リース ・競技用備品購入等 <p>4 その他 100,418 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Torcida BRASIL 管理センター運営委託等 <p>※ホストタウン関連事業のうち対象事業の1/2について国の特別交付税措置となる。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ブラジルパラリンピック委員会との協定締結</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>交流合宿の風景 (上) 柔道・(下) ゴールボール</p> </div> </div>	

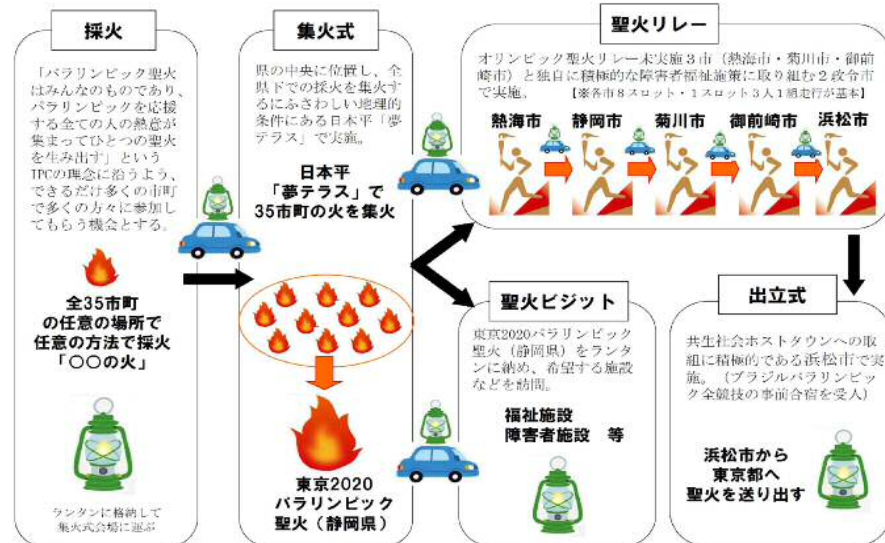
(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	25,150	7,600	0	0	17,550

※大型スポーツイベント等誘致事業 31,485 千円の一部

目的	聖火リレーの実施やライブサイトの運営を通じて、本市の魅力やブラジルホストタウンの取り組みを国内外に発信するとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や祝祭感の創出を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和 2 年 7 月 24 日から 8 月 9 日まで東京 2020 オリンピック競技大会、令和 2 年 8 月 25 日から 9 月 6 日まで東京 2020 パラリンピック競技大会が開催される。 令和 2 年 3 月から 7 月にかけて、全国 47 都道府県でオリンピック聖火リレー、8 月に 4 都県でパラリンピック聖火リレーが行われ、本市は、オリンピック・パラリンピックの聖火リレールートの中継地として選定されている。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> オリンピック聖火リレー事業 8,716 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・日程 令和 2 年 6 月 24 日 ・ルート 中区(市役所~文芸大) 北区(プリンス岬~天浜線~みをつくし文化センター) ・内容 出発時のミニセレブレーションを開催 パラリンピック聖火リレー事業 7,776 千円 競技会場のある東京都、埼玉県、千葉県、静岡県のみで実施 <ul style="list-style-type: none"> ・日程 令和 2 年 8 月 18 日 ・ルート 県内 5 市(浜松市、静岡市、菊川市、御前崎市、熱海市)を巡るルート ・内容 採火式、集火式(静岡市への運搬)、出立式(四ツ池公園陸上競技場) 東京 2020 ライブサイト事業 8,658 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・日程 オリンピック 令和 2 年 8 月 1 日から 2 日まで パラリンピック 令和 2 年 9 月 3 日から 6 日まで ・場所 えんてつホール ・内容 パブリックビューイングにかかるイベント企画等

[パラ聖火リレー実施方針]



[出典] 東京 2020 パラリンピック聖火リレー静岡県内実施概要について (静岡県資料)

ビーチ・マリンスポーツ推進事業

市民部スポーツ振興課

電話:457-2421

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	67,367	20,890	0	0	46,477

※関連課 産業部観光・シティプロモーション課 (電話:457-2293)、都市整備部公園管理事務所 (電話:473-1829)

※大型スポーツイベント等誘致事業 31,485 千円の一部、ビーチ・マリンスポーツ推進事業 12,706 千円、シティプロモーション事業 101,696 千円の一部、公園施設改良事業 222,156 千円の一部、ビーチスポーツ施設整備事業 5,400 千円の合計

目的	ビーチ・マリンスポーツ事業化計画に基づき、「ビーチ・マリンスポーツの聖地」として独自のブランド価値を創出する。		
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・本市は、海・湖・川・山の豊かな自然環境に恵まれているとともに、1年を通じて気候が温暖であり、人口約80万人の都市機能を持ちながら、中心部から30分圏内であらゆる自然にアクセスが可能という地域性がある。 ・平成30年3月27日に「ビーチ・マリンスポーツ推進協議会」を設立し、現在44団体の構成により聖地としての取り組みを進めている。 		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツ環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・(新規)白羽駐車場トイレ改築工事(公園管理事務所) 30,781千円 ・江之島地区整備基本計画策定(スポーツ振興課) 11,272千円 2 情報発信及びイベント開催(観光・シティプロモーション課) <ul style="list-style-type: none"> ・(新規)音楽とビーチ・マリンスポーツを融合した「フェス」開催 10,000千円 ・ビーチ・マリンスポーツ推進イベント開催 6,000千円 ・ビーチ・マリンスポーツの聖地WEB運営 1,000千円 3 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・江之島ビーチコート備品保管施設設置等(公園管理事務所) 5,400千円 ・舞阪表浜東駐車場施設管理等(スポーツ振興課) 2,914千円 		



【江之島ビーチコート】



【江之島地区全景】

四ツ池公園陸上競技場公認更新事業

市民部スポーツ振興課
電話: 457-2421

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	682,994	0	0	500,000	182,994

※スポーツ施設整備事業 1,076,591 千円の一部

目的	四ツ池公園陸上競技場について、引き続き第2種公認陸上競技場の承認を受けるため必要な改修等を行う。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・市内唯一の公認陸上競技場として使用していくためには、5年ごとに公認検定を受ける必要がある。 ・現在の公認期間は、平成28年4月から令和3年4月までである。
事業内容	<p>(公財) 日本陸上競技連盟が令和元年7月に実施した「四ツ池公園陸上競技場(第2種)公認継続に伴う事前調査」を踏まえ改修を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 四ツ池公園陸上競技場改修工事 655,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・既設舗装の撤去・処分 ・陸上競技場表層材の全面改修 約11,000 m² ・レーン幅の設定変更 1.25m→1.22m ・インフィールド芝の整備 ほか 2 備品購入等 27,994千円 <ul style="list-style-type: none"> ・棒高跳び用マット ・やり・円盤 ・電子式風力速報表示盤 ・障害物競走用水濠バー修繕 ほか



四ツ池公園陸上競技場

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	66,264	32,628	0	0	33,636

※鈴木家住宅維持管理事業 66,264 千円



目的	国指定有形文化財（重要文化財）「鈴木家住宅」の保存修理を行い、良好な状態で後世へ残し伝える。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年6月に国指定有形文化財（重要文化財）に指定された。 ・重要文化財は、修繕等に対する国庫補助金交付要件として、耐震対策を行うことが必須となっている。
事業内容	<p>主屋・釜屋の保存修理事業</p> <p>1 文化財の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木家住宅 主屋（居室部）・釜屋（土間、流しなど）2棟 ・所在地 北区引佐町的場742番地 ・建築年 江戸時代（1821年） <p>2 工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根の葺き替え 苔が発生するなど老朽化の著しい主屋及び釜屋の茅葺屋根を全面的に葺き替え ・耐震対策 令和元年度実施の耐震診断に基づく躯体の補強工事



主屋（左）・釜屋（右）

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	45,401	15,970	0	0	29,431

目的	史跡等の発掘調査、資料整理及びシンポジウムを行い、文化財の適正な保存管理を図るとともに地域活性化につなげる。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年2月に二俣城及び鳥羽山城が国史跡に指定されたため、保存活用計画の策定により、保護・活用・整備事業に国庫補助金の活用が可能となった。 令和元年11月に、光明山古墳が国史跡に指定される答申がなされた。 令和2年は、徳川家康公が浜松城を築城してから450年の節目の年にあたる。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 二俣城跡及び鳥羽山城跡 整備基本計画策定 4,206千円 令和元年度に策定した「保存活用計画」(整備方針、将来像)に続き、具体的な整備内容を示す「整備基本計画」を策定 光明山古墳公有化 14,911千円 <ul style="list-style-type: none"> 古墳を確実に保護するため、公有化(土地の買取り)を実施 国史跡指定を記念するシンポジウムを開催(令和3年1月 天竜壬生ホール) 浜松城跡石垣調査 17,550千円 令和元年度の現況調査を受け、詳細調査等を実施 浜松城築城時バーチャル再現 5,000千円 元亀元年(1570年)に家康公が築いた浜松城を再現したCG(コンピューター・グラフィック)を作成し、築城当時の浜松城を紹介 その他 3,734千円 二俣城跡及び鳥羽山城跡 樹木管理等
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>浜松城の石垣(天守門入口)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>城跡のCGのイメージ</p> </div> </div>

中央図書館大規模改修事業

市民部中央図書館
電話:456-0234

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	41,390	0	28,200	3,100	10,090

※関連課 財務部公共建築課 (電話:457-2461)

※図書館運営事業 施設整備事業 45,825千円の一部、公共建築物長寿命化推進事業 1,810,131千円の一部、公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業 51,208千円の一部の合計

目的	市内図書館の中核である中央図書館の大規模改修を実施し、安全で快適な公共空間を市民へ提供する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現施設は昭和56年4月に開館後、38年経過し、老朽化が著しい。 ・ 職員執務室が施設内5か所に分散し、非効率な配置である。 ・ 平成30年10月に策定した図書館ビジョンでは、知の拠点としての機能充実、ユニバーサルデザイン化、親しみやすい環境づくり等を目指すこととしている。
事業内容	<p>1 設計業務</p> <p>(1) 長寿命化工事設計 (公共建築課) 31,451千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 劣化状況等に応じた不具合箇所の改修 (外壁、内装、建具、家具) ・ 劣化状況等に応じた電気、空調、衛生及び消火設備の更新 ・ UD化、省エネ化のための多目的トイレ、授乳室、LED照明等の整備 <p>(2) 改良保全工事設計 (中央図書館) 9,939千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1階事務室・受付準備室及び2階参考室・郷土資料室等のレイアウト変更 ・ 飲食コーナー、ボランティア室、多目的室等の新設 など <p>2 スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度 設計 (工事詳細の決定、工事費及び工期の算出) ・ 令和3、4年度 工事 (予定)



中央図書館 現在の外観と内観

〈新規〉 蜷塚遺跡保存活用計画策定事業

市民部文化財課博物館
電話: 456-2208

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	4,750	2,375	0	0	2,375

※遺跡公園運営事業 施設整備事業 9,377 千円の一部

目的	国の指定史跡である蜷塚遺跡を歴史まちづくりの拠点と位置づけ、市民が親しみやすく利用できる魅力ある公園として再整備するとともに、公園内にある博物館の将来像を検討する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蜷塚遺跡は、昭和 30 年代に全国に先駆けて発掘調査され、野外博物館のモデルとなったが、最初の整備から 60 年が経過している。 ・ 文化庁が蜷塚遺跡の再整備を、全国へ情報発信できるモデル事業として位置付けている。
事業内容	<p>1 蜷塚遺跡保存活用計画策定事業 4,750 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最新の研究成果を反映した整備を行うため、保存活用の基本方針を策定 ・ 計画策定にあたっては、専門家などの有識者による検討会を設置 ・ 計画は、令和 2～3 年度の 2 年間で策定し、その後、国の認定を目指す <p>2 蜷塚遺跡の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡の指定 昭和 34 年 5 月 13 日 (国指定史跡) ・ 史跡の内容 縄文時代後期 (4000～3000 年前) の集落及び貝塚 ・ 面積 公園全体 36,654 m² (うち史跡指定地 13,514 m²)



蜷塚遺跡

〈新規〉家康公浜松城築城 450 年記念特別展開催事業

市民部文化財課博物館
電話:456-2208

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	9,116	0	0	915	8,201

※博物館展示会開催事業 特別展開催事業 9,116 千円

目的	徳川家康公が浜松城を築城してから 450 年という節目の年の記念事業として、特別展「浜松城～築城から現代へ（仮題）～」を開催する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年は、徳川家康公が浜松城を築いてから 450 年という記念の年にあたる。 ・博物館では浜松城絵図や築城に関わった大工の古記録を調査研究しており、まとまった成果が公開できる。
事業内容	<p>博物館特別展「浜松城～築城から現代へ（仮題）～」開催事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 展示会の開催（10 月 17 日～11 月 29 日） <ul style="list-style-type: none"> ・家康公の築城から明治の廃城、昭和の復興天守建設に至る浜松城の歴史について、関連資料を交えて紹介 ・全国で保管されている城絵図、古記録、浜松城跡の出土品などを展示 2 関連催事の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・展示会開催期間中、城郭や古建築の専門家による記念講演会や浜松城を題材とした講座を開催



浜松城



浜松城絵図

美術館及び秋野不矩美術館展覧会	市民部美術館	秋野不矩美術館
	電話:454-6801	電話:922-0315

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	94,251	0	0	46,997	47,254

※(美術館費)会計年度任用職員 9,576千円の一部、平常展開催事業 5,382千円の一部、企画展開催事業 48,549千円の一部、特別展開催事業 11,346千円の一部、(秋野不矩美術館費)会計年度任用職員 7,076千円の一部、秋野不矩美術館所蔵品展開催事業 3,750千円、秋野不矩美術館特別展開催事業 17,511千円の一部の合計

目的	展覧会の開催を通して、市民の芸術文化の向上を図る。			
	1 美術館 66,003千円			
事業内容	No.	イベント名	R2	内容・開催期間
	1	仲山計介展 (企画展)	11,050	浜松市出身の日本画家・仲山計介のエネルギーに満ち溢れた作品を紹介する展覧会 令和2年4月25日～6月14日
	2	くまのパディントン展 (特別展)	11,346	絵本の原画、書籍、仕事道具等を展示し、世界中で今なお愛されるパディントンの世界を紹介する展覧会 令和2年7月11日～9月13日
	3	国芳・芳年浮世絵展 (企画展)	8,016	幕末から明治期に、浮世絵界を活性化させた歌川国芳と、芳年・芳幾ら弟子たちの作品を紹介する展覧会 令和2年9月26日～11月8日
	4	平常展	3,042	当館所蔵の地域ゆかりの作品を含む名品展、及び市展入賞者の個展 令和2年7月11日～9月13日 ※特別展同時開催 令和2年11月24日～12月20日
	5	浜松市第68回市展 (平常展)	2,180	美術の創作と鑑賞を勧め、郷土の文化・芸術の向上を図るため、広く市民から作品を募集し、入賞入選した作品を展示 令和3年2月2日～2月12日
	6	みほとけのキセキ展 (企画展)	30,369	開館50周年を記念し、湖北五山等の寺院が所有する仏像・仏画を中心に、重要文化財を含め紹介する展覧会 令和3年3月25日～4月25日
	2 秋野不矩美術館 28,248千円			
	1	花と緑の日本画展 (特別展)	11,456	はままつフラワーパークの50周年とも連携し、秋野不矩も出品した大阪花博での「花と緑の日本画展」の作品を紹介 令和2年7月4日～8月23日
	2	所蔵品展	6,909	各回のテーマに沿って秋野不矩の画業を紹介 令和2年8月29日～10月18日、12月19日～2月14日 令和3年3月2日～3月21日、3月30日～3月31日
	3	石本正展 (特別展)	9,883	秋野不矩が創立に携わった「創画会」の物故会員である日本画家・石本正の生誕100周年を記念し、回顧展を開催 令和2年10月24日～12月13日

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	6,188	0	0	5,500	688

※秋野不矩美術館運営事業 資料収集保存事業 6,188 千円

目的	秋野不矩作品を購入し、作品の適正な管理を行い、調査・研究を踏まえて秋野不矩の画業を広く紹介する。
背景	平成10年度の開館以来、秋野不矩作品の収集につとめ、現在秋野不矩の作品318点、その他作家の作品32点の合計350点を所蔵している。
事業内容	<p>秋野不矩作品を1点購入する</p> <p>1 作品名 「女神ヤクシニー」 2 制作年 1980年 3 サイズ 111cm×53cm 4 価格 5,500千円 5 特徴 秋野氏の代表的なモチーフであるインドの神々を表現した作品であり、作者の特徴的な画風がよく表れている重要な作品 6 展示時期 令和2年10月展示予定 7 その他 絵画修復委託等 688千円</p>



「女神ヤクシニー」 1980年
秋野不矩作

〈新規〉Web 口座振替受付サービス事業

財務部税務総務課
電話:457-2141

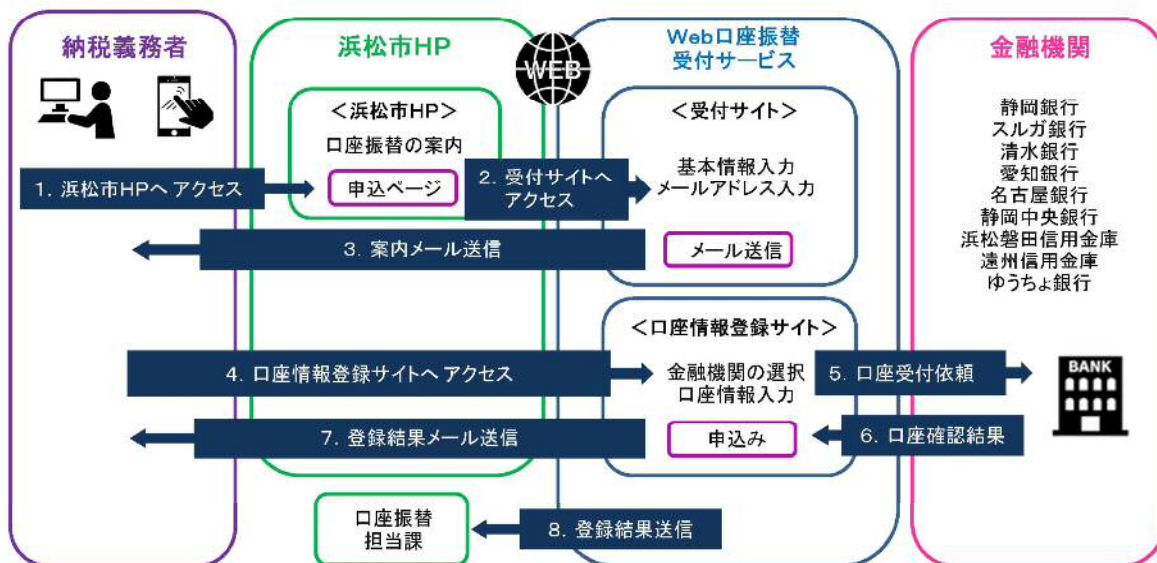
(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	5,940	5,940	0	0	0

※口座振替・納税奨励事業 33,804 千円の一部

目的	納税者の利便性の確保と納期内収入率の向上を目的として、市税の口座振替の申込手続をインターネット上で行う、Web 口座振替受付サービス事業を開始する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 市税の口座振替は、現在、金融機関の窓口や郵送により申込を受け付けている。 第5次市税滞納削減アクションプランにおける、健全財政の堅持及び生産性の向上に向けた納税者の利便性の確保及び納期内収入率の向上策の一つとして、口座振替を一層促進する必要がある。
事業内容	<p>市税の口座振替申込について、現在の申込方法に加え、自宅等において 24 時間 365 日インターネット上で手続できる「Web 口座振替受付サービス」を導入する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 取扱税目等 個人市・県民税（普通徴収）、固定資産税・都市計画税、軽自動車税（種別割） 利用料 無料 事業計画 令和2年度 システム構築や検証作業等 令和3年4月 サービス開始（予定） 債務負担行為 <ul style="list-style-type: none"> 事項 Web 口座振替受付サービス事業費 期間 令和2年度から令和3年度まで 限度額 1,870 千円

【Web口座振替受付サービス フロー図】



〈新規〉マイナンバーカード交付促進事務拡充事業

市民部市民生活課
電話:457-2130

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	安全・安心・ 快適	79,458	79,458	0	0	0

※戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等事業 701,731千円の一部

目的	総務省に提出したマイナンバーカード交付円滑化計画に基づき、マイナンバーカードの申請方法及び交付場所を拡充し、マイナンバーカードの交付を促進する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 本市では、令和2年度のマイナンバーカードの目標交付率を国が提示した47.1%に設定した。 目標達成のため、マイナンバーカードの交付申請をしやすい環境を整える必要がある。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 申請時来庁方式（令和2年7月開始予定） 行政手続き等で区役所に来庁した市民に対して申請受付を行い、マイナンバーカードを本人限定郵便で交付する。 出張申請受付方式（令和2年7月受付開始予定） 企業や商業施設等に職員が出向き、タブレット端末等で申請受付を行う。 第1種協働センター等でのカード交付（要予約、令和2年9月交付開始予定） 区役所まで来庁できない市民に対し、市内12か所でカード交付を行う。

交付時来庁方式（現在の交付方式）

					
① 郵送・オンライン等で申請	② J-LIS でカード作成	③ 区役所にて交付前設定	④ 交付通知書が自宅に届く	⑤ 区役所交付時に本人確認	⑥ 区役所でカード受領

申請時来庁方式（追加する交付方式）

				
① 区役所申請時に本人確認	② J-LIS でカード作成	③ 区役所にて交付前設定	④ 本人限定郵便でカード送付	⑤ 自宅でカード受領

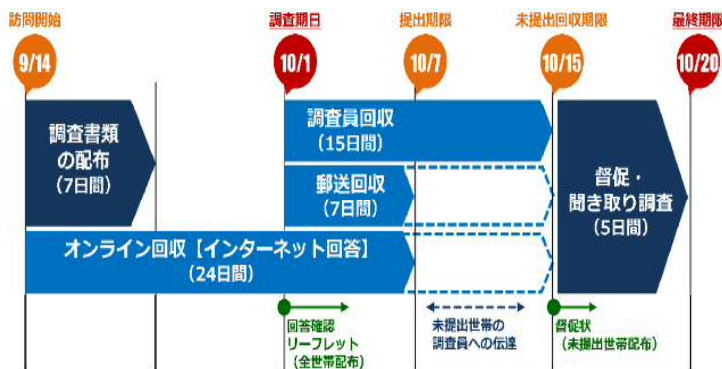
(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	320,672	320,672	0	0	0

※(統計費) 附属機関の委員等 251,945 千円の一部、(統計費) 会計年度任用職員 13,033 千円の一部、基幹統計調査事業 国勢調査 61,837 千円の合計

目的	国及び地方公共団体における各種行政施策の基礎資料を得るため、市内全世帯を対象に国勢調査を実施する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 5 条第 2 項に定める基幹統計調査（法定受託事務）として実施する。 ・国勢調査は、大正 9 年以降 5 年ごとに実施されており、令和 2 年に実施する調査はその 21 回目にあたり、実施 100 年の節目を迎える。
事業内容	<p>国勢調査事業の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調査期日 令和 2 年 10 月 1 日午前 0 時現在 2 調査の対象 <ul style="list-style-type: none"> ・市内に常住するすべての者 前回平成 27 年結果：対象世帯数 309,227 世帯、人口 797,980 人 3 調査項目 <ul style="list-style-type: none"> ・世帯員に関する事項：男女の別、出生の年月、就業状態など ・世帯に関する事項：世帯員の数、住居の種類、住宅の建て方など 4 調査の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・調査員が世帯を訪問し、面接の上で調査票等の調査関係書類一式を配布 ・調査票はオンライン（インターネット回答）、郵送、調査員により回収

国勢調査の実施概要



国勢調査ポスター

